
所 属 : 芸術学部 デザイン工芸学科 染織造形分野

職・氏名 : 教 授 倉内 啓

研究キーワード : 染織、染色、型染、テキスタイルデザイン、工芸

■研究テーマ

① テーマ：型染による造形作品の制作

概要：染色工芸の防染技法、主に型紙を用いた糊防染による模様染の創作活動を行なっています。日本では民族衣裳の装飾加工技術としてさまざまな防染技法が生まれました。一方、西洋には近代まで防染による模様染めの文化が無かったと言っても過言ではありません。西洋の理論によって構築された近代の美術概念の枠組みで見落とされてしまいがちな日本人の独自の感性やものづくりの原点を鑑み、伝統的な技法を継承しながら皮膚感覚に根ざした現代的な表現を目指します。

② テーマ：古典紅型の文様研究

概要：琉球の古典紅型における文様と日本の古典文様との比較研究を行っています。

③ テーマ：自主ブランド製品のプロデュース及びコラボレーションレーベルの研究

概要：日常生活の中で再び工芸作品が積極的に取り入れられる様に、「用」と「美」の調和を現代的な視点で見つめ直し、社会との繋がりを模索します。そのひとつの例として、ブランドのディレクションや学生（若手作家・デザイナー）や企業とのコラボレーションによる製品の企画やデザインの可能性を探っています。



『つゆのあとさき』（型絵染六曲屏風：180×240cm）2013年

■研究テーマの応用例

壁面装飾、襖制作、インテリア・ファッションファブリック、フラッグ・バナーデザイン、等

■ 想定される連携先

- ・テキスタイル・プリント、繊維関連の企業、インテリア・ファッション関連の企業、等
- ・伝統工芸（地場産業）、地域団体、地方自治体、公的研究機関、教育機関、社寺、等